

第3期滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況について

(令和5年度実績)

第3期滋賀県スポーツ推進計画の概要

平成27年12月に公布、施行した滋賀県スポーツ推進条例に基づき、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画期間とする「第3期滋賀県スポーツ推進計画」(以下「推進計画」という。)を令和5年3月に策定した。

- ・ 目指す姿 すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、感動を共有し、互いに連携・協働することを通じて、地域に誇りや愛着を持ち、健やかで豊かな生活を営むことができる共生社会の実現 —スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！—
- ・ 基本方針 I 「健やかで豊かな生活」をつくる
 II 「活力のある地域」をつくる
 III 感動を未来へつなぐ
- ・ 政策 「人」「地域」「大規模大会」の視点から7つの施策を掲げる。
 - 1 生涯にわたるスポーツ活動の充実
 - 2 子どもの運動・スポーツ活動の充実
 - 3 障害のある人のスポーツ活動の充実
 - 4 スポーツを通じた連携・協働の推進
 - 5 スポーツを生かした地域の活性化
 - 6 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ等に向けた競技力向上と競技水準の定着
 - 7 地域の特性を生かした大会レガシーの創出と未来への継承
- ・ 計画期間 令和5年度～令和9年度 (5年間)

■指標の達成状況

- ・ 達成率 【(実績-基準) / (目標-基準) × 100】により算定
達成率がマイナスとなったものは「0%」、100を超えたものは「100%」としている。
- ・ 評価 滋賀県基本構想実施計画(第2期)に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、令和5年度が推進計画の1年目に当たることから、20%以上のものは「A」、20%未満のものは「B」として表している。

評価	令和5年度
A：年次目標達成	7項目
B：年次目標未達成	8項目
N：未集計	1項目
合計	16項目

※再掲の指標は除く

第3期滋賀県スポーツ推進計画における指標（最新数値入力）

評価	項目数	指標の内容	計画策定時 (基準値)	令和5年度 の状況	目標値 (令和9年度)	達成率 (%)
A 年次目標 達成	7	③公認スポーツ指導者数	3,294人 (R4)	3,997人 (2023年10月)	4,300人以上	69.9
		⑧県障害者スポーツ大会等の参加者数（延べ人数）	899人 (R3)	1,796人	1,600人以上	100
		⑨公認障がい者スポーツ指導者数	345人 (R3)	383人	490人以上	26.2
		⑩アスリートを採用した県内企業数	46社 (R3)	60社	64社以上	77.8
		⑪県内のプロスポーツチーム等との連携およびスポーツを通じた大学との連携の件数	60件	98件	90件以上	100
		⑫スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数	876万人 (R3)	980万人 (速報値)	1,200万人 以上	32.1
		⑬滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174人 (R3)	120,900人	12万人以上	100
B 年次目標 未達成	8	①成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率	男性55.2% 女性48.6% (R3)	男性54.9% 女性49.3%	男女とも 70%以上	男性 0 女性 3.3
		②スポーツボランティア参加者数（延べ人数）	1,867人 (R3)	1,300人	3,800人以上	0
		④国体・国スポの監督に占める女性の割合	16% (R4)	12%	25%以上	0
		⑤県内の公共スポーツ施設（社会体育施設・都市公園等における運動施設）の利用者数	7,630,300人 (H30)	7,455,398人	880万人以上	0
		⑥「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	【小5】 男子67.2% 女子50.1% 【中2】 男子58.8% 女子39.5% (R4)	【小5】 男子71.7% 女子50.3% 【中2】 男子59.8% 女子36.3%	【小5】 男子74.0% 女子54.0% 【中2】 男子62.0% 女子45.0%	【小5】 53.1 0 【中2】 0 0
		⑭国体・国スポ総合順位	20位 (R4)	17位	開催年 優勝 開催後 15位 以内	15.8
		⑮日本代表強化指定選手数（令和5年度から令和9年度までの間の累計）	オリンピック： 21人 パラリンピック： 17人 (R3年度単年の 指定選手数)	オリンピック： 18人 パラリンピック： 28人	オリンピック： 125人以上 パラリンピック： 100人以上	14.4 28.0
		⑰スポーツを観戦した県民の割合（テレビ観戦などは除く）	21.5% (R4)	21.9%	40%以上	2.2
N 未集計	1	⑦障害者の週1回以上のスポーツ実施率	38.4% (R4)	38.4% (R4)	50%以上	－

※滋賀県基本構想実施計画（第2期）に位置付けがある指標のうち同実施計画の年次目標を達成しているものは「A」、達成していないものは「B」、未集計は「N」として表している。

ただし、同実施計画の年次目標に位置付けがない指標については、令和5年度が推進計画の1年目に当たることから、20%以上のものは「A」、20%未満のものは「B」として表している。

※再掲の指標は除いている。

【基本方針Ⅰ】「健やかで豊かな生活」をつくる

（政策１）生涯にわたるスポーツ活動の充実

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R9 目標値	達成率	評価
①成人（男・女）の週１回以上のスポーツ実施率	男性 55.2% 女性 48.6% (R3)	男性 54.9% 女性 49.3%	男女とも 70%以上	男性 0% 女性 3.3%	B B

【主な施策の実施状況】

年間を通じて「滋賀県民総スポーツの祭典」を開催し、多くの方々のスポーツを楽しむ機会を創出した。（157 種目を開催、参加者 31,305 人）

また、働き盛り世代のスポーツ実施率の向上に向けて、県内企業の従業員を対象に、びわこ成蹊スポーツ大学が考案した健康増進プログラムを４か月間実践し、体力や身体組成、活動量を継続的に測定して運動効果を検証した。（参加者数のべ 1,871 人）



（県内企業での健康増進プログラム）

【今後の方向性】

滋賀県民総スポーツの祭典がより一層多くの方々に参加していただける大会になるよう検討を進める。

また、健康増進プログラムを実践した企業から好評価を得られたことから、同プログラムを県内の他企業へと横展開し、職場で気軽に体を動かせる環境づくりに取り組むとともに、県内のスポーツ関係団体等とも連携を図り、プログラムの普及を図る。

指 標	策定時	R5	R9 目標値	達成率	評価
②スポーツボランティア参加者数 （本県ボランティア登録システム利用）	1,867 人 (R3)	1,300 人	3,800 人 以上	0%	B

【主な施策の実施状況】

県内で開催する大型スポーツイベント等に向け、スポーツボランティアを確保・育成する「ゲームコンダクターSHIGA」に、令和５年度末時点で 4,609 人に登録いただいている。また、「しがスポーツボランティア協議会」においては、ボランティアに関する基礎知識や救命救急講習など多様なジャンルの研修をオンラインも活用しながら実施（研修実施回数 9 回）したほか、各種団体等が主催する大会やイベント等について活動の場を提供した。



（びわ湖マラソンボランティア）

【今後の方向性】

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ等の大規模スポーツイベントでボランティアの中心として活躍いただくために、研修会等を通じてボランティアの養成を進めるとともに、多くの経験を積んでいただけるよう、活動機会の提供に取り組んでいく。

（施策3）障害のある人のスポーツ活動の充実

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R9 目標値	達成率	評価
⑧県障害者スポーツ大会等の参加者数	899 人 (R3)	1,796 人	1,600 人以上	100%	A
⑨公認障がい者スポーツ指導者数	345 人 (R3)	383 人	490 人以上	26.2%	A

【主な施策の実施状況】

障害者が身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブおよび市町障害者スポーツ協会に委託し、障害者スポーツ教室を実施した。（16 団体、参加者数のべ 2,405 人）

例年開催している滋賀県障害者スポーツ大会は、全国障害者スポーツ大会選考会の部として、個人7競技、団体4競技を開催（参加者数のべ 682 人）するとともに、誰もが気軽にスポーツに親しめるスポーツフェスタの部として4競技を実施した。（参加者数のべ 203 人）

また、障害者スポーツの認知度を向上させ、新たに障害者スポーツに取り組もうとする人や団体に対し、各競技の体験会や指導者講習会を開催し、指導者を育成することで長期的な裾野拡大と理解促進を図った。



（障害者スポーツ教室・ボッチャ）

【今後の方向性】

総合型地域スポーツクラブや市町障害者スポーツ協会等を地域の活動拠点のひとつとして位置づけ、これまで障害者スポーツ教室に取り組んできたノウハウを共有し、障害者スポーツに取り組む団体を増やすほか、障害者スポーツに取り組める活動拠点の情報を地域の障害のある人に提供できる体制を整備する。

【基本方針Ⅱ】「活力のある地域」をつくる

（施策4）スポーツを通じた連携・協働の推進

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R9 目標値	達成率	評価
⑩アスリートを採用した県内企業数	46 社 (R3)	60 社	64 社以上	77.8%	A

【主な施策の実施状況】

アスリートを採用した県内企業は令和3年度の基準値よりも14社増加し、60社となった。なお、県競技力向上対策本部が立ち上げた職業紹介所「SHIGAアスリートナビ」などを活用した結果、令和6年4月の入社選手計30人の就職につなげることができた。

県内プロスポーツチーム等との連携およびスポーツを通じた大学との連携は、スポーツ課および国スポ障スポ大会局を中心にしつつ、人権や健康医療福祉分野等においても連携を進めることができている。



（採用企業からの応援@ラグビー）

【今後の方向性】

成年選手の競技力の向上に向けて、引き続き、大学・企業等やスポーツ団体との連携・協働に取り組み、サポート体制を充実していく。

特に、大学に対しては、開催まで1年あまりとなったわたSHIGA輝く国スポ・障スポに向けた競技力向上やスタッフ確保への協力依頼を積極的に行うことで連携をより強化していく。

プロスポーツチーム等とも一層連携を強化するとともに、県や市町の広報媒体も最大限活用して、県民の運動・スポーツへの関心を高め、からだと心の健康づくりや運動・スポーツ実施率の向上につなげていく。

（施策5）スポーツを生かした地域の活性化

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R9 目標値	達成率	評価
⑬滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174 人 (R3)	120,900 人	12 万人 以上	100%	A

【主な施策の実施状況】

滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数は、滋賀レイクスターズとレイラック滋賀FCが観客動員数を伸ばしたことにより120,900人（前年度比約30,000人増）となり、目標に到達した。

県内のプロスポーツチーム等（滋賀レイクスターズ、東レアローズ、レイラック滋賀FC（旧MIOびわこ滋賀））の試合会場において、わたSHIGA輝く国スポ・障スポの広告やのぼりの掲出を行い、両大会の周知と機運醸成を図った。滋賀レイクスターズのホームゲームを本県の冠試合として開催し、国スポ・障スポの競技体験ブースを設けるなどしてPRを展開した。



（レイクスホームゲーム@滋賀ダイハツアリーナ）

【今後の方向性】

プロスポーツの盛り上げに一層取り組みながら、県内のプロスポーツチーム等の発信力を活用することで、大規模スポーツ大会の周知や機運醸成を図るとともに、障害者スポーツの理解促進や魅力発信にも取り組んでいく。

【基本方針Ⅲ】感動を未来へつなぐ

（施策6）わたSHIGA輝く国スポ・障スポ等に向けた競技力向上と競技水準の定着

【主な指標の状況】

指 標	策定時	R5	R9 目標	達成率	評価
⑭国体・国スポ総合順位	20 位 (R4)	17 位	本県開催年度(R7)： 優勝 本県開催後： 15 位以内	15.8%	B
⑮日本代表強化指定選手数 (令和5年度(2023年度)以降の累計)	オリンピック： 21 人 パラリンピック： 17 人 (R3年度単年の 指定選手数)	18 人 28 人	125 人以上 100 人以上	14.4% 28.0%	B

【主な施策の実施状況】

特別国民体育大会の総合順位は前年を上回る成績を収めることができたものの、10 位以内という目標には届かなかった。

スポーツ特別指導員やふるさと選手など新たに本県選手として出場した選手の活躍により、前回大会を上回る競技得点を獲得できた種目も多く、前回大会を4 競技上回る 22 競技で入賞し競技得点を獲得できた。また、高校1 年生となった 2025 ターゲットエイジが入賞するなど、強化事業の成果は着実に表れている。

【今後の方向性】

県スポーツ協会で雇用する「スポーツ特別指導員」をはじめ、上位入賞が期待できる選手のさらなる獲得に努めるとともに、当該選手に対する個人指定強化対策を充実し、さらなる競技力の向上を図る。

また、2025 ターゲットエイジの高校進学に伴い、開催年における出場想定選手の編成がより明確になってくることから、これらの選手に対する強化事業の質・量の充実を図り、県代表となる選抜メンバーを集中的に強化することで、少年種別での競技力向上につなげる。



(特別国民体育大会開会式@鹿児島)